

ニュースは第3の教科

教員 佐久間健士(62)

高校の教科に「社会と情報」がある。1年生のこの授業を担当しており、授業の冒頭に最近のニュースを生徒に聞いて

いる。ニュースは情報を学ぶ生徒にとっては基本的なことだ。

授業では、だいたい三つのグループに分けることができる。「毎回必ず手を挙げる人」、「時々手

を挙げる人」、「全く手を

挙げない人」だ。「毎回必ず手を挙げる人」がこれから増えることを期待している。

たまたま、私の知らないことを耳にすることがあるのでおもしろい。みんながいろいろなニュースを発表することで、知識を共有することができる。自分の言葉で分

かりやすく、周りの人に

伝えるための練習にもなる。

高校3年生は、就職・進学に向けて、面接の練習が始まっている。学校で学ぶ教科も大事だが、「最近、気になったニュ

ースはありませんか」と聞かれても答えられるように、「第3の教科」としてニュースを学ぶことにも力を入れてほしいものだ。
(始良市)